

ニッポン

ドクター和の



臨終図巻

「自分は多分、日本の俳優では一番多く皆さんのようなユニホームを着た役をやったと思います。一日も早く、あなたにとって大切な人のところへ帰ってあげてください。心から祈っています」

これは俳優の高倉健さんが生前、富山刑務所で受刑者を前に講演したときの言葉です。早く罪を償ってくださるいはなく、早く帰ってあげてくださいと言った、さりげない優しさに心を動かされたのを覚えています。

日本映画の巨星、高倉健さんが「く」なうってから、もう3年がたとうとしています。2014年11月10日、悪性リンパ腫のために逝

28 高倉健



長尾和宏（ながお・かずひろ）
東大医学博士、大阪府立第二医科大学卒業後、1995年、京都府京都市で「人々を診る」総合診療を目指す。著「痛くない死に方」はベストセラー。関西国際大学客員教授。

去。83歳でした。

日本人の誰もが顔を知っている大スターながら、その生き方は実にストイック。プライベートはほとんど表に出てこないことでも有名でした。今回、どのような闘病をされたのかを改めて調べてみましたが、まったく資料がありません。事務所からのファクスも「次回作準備中、体調不良により入院、治療を続

けておりましたが、容態急変にて11月10日午前3:49都内の病院にて旅立ちました。生ききった安らかな笑顔でございました」とだけ記されておりました。悪性リンパ腫は、白血球の一種であるリンパ球ががん化する疾患です。リンパ球は細菌やウイルスから体を守ったり、がんを攻撃したりする役割を担っています。本来はがんと闘ってくれるはずの細胞が、がんになってしまう病態です。

院に行ったときにはもうかなり進行した状態…ということも少なくありません。治療の中心は薬物療法（抗がん剤）です。健さんが果たして、どんな治療をされていたのかは手掛かりがありません。遺作となった映画「あなたへ」は亡くなる2年前、2012年の公開で、この頃は元気をうでした。この作品の撮影風景やインタビューをまとめたテレビ番組を見ました。健さんはこんなことを言っていました。

このがんは、発生した部位や性質によって症状も進行度も多種多様で、世界保健機関（WHO）分類では50種ものタイプに分類されています。リンパ組織は全身にあります。リンパ組織は、どの場所に起こってもおかしくはないのです。

「肉親の葬式は誰のものも行っていません。自分の都合で撮影は絶対に止めたくないから」。さらに座右の銘として、天台宗の高僧・酒井雄哉氏からいただいたという言葉が紹介されていました。

「往く道は精進にして、忍びて終り悔いはなし」

まるで健さんの遺言のようにも思えます。忍びて終わる人生。究極の平穏死の形かもしれないね。

「忍びて終わる」平穏死